

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 テイレシアスの食卓——河井健司
- 42 大往生考
- 51 西風
- 58 新・危機管理のノウハウ
- 59 交差点——読者の声・編集者の声

- 80 金融の世紀——黒木亮
- 88 皇室の風——岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 新・大学評判記
- 94 本に遇う——河谷史夫
- 96 をんな千一夜——石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし

社会・文化



北海道の農家ででの虐待事件は、外国人労働者保護が進まぬ現実を浮き彫りにした。現場は人手不足で喘ぐのに、政府は外国人受け入れを制限する。無知で無責任な似非保守のせいで、日本の食卓は危うくなる。(110頁)

- 98 社会・文化●情報カプセル
- 100 上皇「葬儀縮小」は容易でない
- 102 「サケ」と川と人の物語——遡上する命を巡るアイヌの「悠久」
- 104 医療保険財政「破綻回避」の処方箋
- 106 「ポルドーワイン」は生き残れるか——銘酒が売れない「多重危機」
- 108 サカナAIは「国産」ではない——住友商事との提携に異論百出
- 110 日本サンクチュアリ・シリーズ 625
- 110 農水産業と「外国人」——食料安保を脅かす「虐待と排斥」

経済

- 60 米中間選挙で市場はどう動くか——AIインフラ相場「大揺れ」の予兆
- 62 創業を「武器化」する中国
- 64 金融庁とソニー生命の「濃密な関係」
- 67 連載「クロースアップ」枝廣弘巳「東邦ホールディングス社長——ファンド猛攻「不祥事続発」の窮地
- 68 連載「企業研究」日本製紙
- 72 経産省「企業買収指針」改悪の愚——再び後退する日本資本市場
- 74 経済●情報カプセル
- 78 連載「地方金融の研究」あいちフィナンシャルグループ——経営統合スピード破談の醜態
- 82 優等生「デンソー」が沈み始めた——トヨタからの受注が相次ぎ消失
- 84 中部電力に再生の日は来ない
- 86 中国が攻め込む「高級車」市場——あのマセラティも「中国頼み」に

事故は熊本の大規模倒壊だけではない。米子子会社でも多数の人命を奪う事故で「人災」が疑われる。最終赤字転落もあり得る状況で、一番厄介なファンドに噛みつかれた。退場までどれほどの代償を払わされるか。(68頁)



政治



新味も妙味もない内閣改造と党人事。逆に、党内分裂の火種と臨時国会「大荒れ」の要因を生む結果に。謎の高支持率が崩れれば、アンチ高市が勢いを増し、閣外追放の林芳正が「御輿」となる。逆回転は速い。(48頁)

- 44 政治●情報カプセル
- 46 日米「黄金時代」という大嘘
- 48 高市「人事失敗」の重罰
- 52 連載「政界スキャンダル」麻生に届いた高市「アンケート内閣」
- 54 天皇と高市の「気まずい」関係
- 56 自民と維新「同床異夢連立」の断層——「閣内協力」で近づく瓦解の足音

WORLD

- 3 連載「巻頭インタビュー」ダニエル・スアレス——AIと民主社会を「共栄させる道筋」
 - 6 米中露「暴君協商」の暗黒
 - 12 老若男女「SNS中毒」蔓延の脅威
 - 14 メキシコ名門大学が浴びる脚光——米国「留学永河期」で飛躍の好機
 - 16 EUを分断する「対中経済戦略」——「欧州優先」を巡る独仏の暗闘
 - 18 WORLD●情報カプセル
 - 22 イラン内部崩壊を誘う「平時作戦」——イスラエル「戦略転換」の中身
 - 24 仏「右翼テーマパーク」が大人気
 - 28 ロシアが狙う「欧州民主社会」の破壊——ウクライナ膠着の卑劣な打開策
 - 30 プーチン後継で有力候補が浮上——国防相「首相昇格説」の危うさ
 - 32 中印「半導体産業競争」が熾烈に——10年後は「インド優位」の構図
 - 34 トランプ「平壤訪問」が濃厚に
 - 36 中国が目論む日本の「孤立化」
 - 38 連載「現代史の言霊」10月の開戦——米国「デロ」の戦い「開始」2001年
- 歩み寄った米中に、11月のAPECではロシアが加わる。3国それぞれの核心的利益を認め合い、世界を身勝手に分割する。中東と欧州、そして極東アジアは暴君に抗う術はあるのか。世界秩序崩壊は末期症状へ向かう。(6頁)

